昭和30年6月23日 第三種郵便物認可
磐城日日
夕刊（除日曜）第1473号

分市を内包しては 市名變更許可せず

大竹縣知事の回答

磐城市名問題が江名地区の分市問題を内包して、ようやく深刻な問題に発展して来ている。

江名地区民は既報通り、旧江名町民大会を開催し、市名変更絶対反対を叫び、市議会に多数の力をもつて破れた場合は分市の覚悟があるとして強固な態度を堅持している。

この為過般行われた旧町民大会の決議を以て一昨日、江名区長連合会長坂本菊治氏等五名の区長、市議五名、江名底曳漁業協同組合長小松敬次郎等一行十二名が出県、決議文を持つて大竹知事、及県地方課長等に陳情を行つて昨十四日夕刻帰郷した。

これによると、大竹県知事の回答として「磐城市の現況は福島県にとつて極めて大きな存在にあり、知事としては福島県の発展の為には全力を挙げてやつている。

この時市名変更等の小さな問題で内紛している事は遺憾な事であり然かも、市名変更については分市問題を内包しながらし名改称をし議会に於て決議して許可を受けようとしても、知事としては許可しない」主旨の回答があつた。

本日午後一時より開催されているし名改称委員会には、江名地区の陳情団の報告がなされて県の意向について協議し、し名変更問題についての議会についての取扱い及今後の対策について協議されている。

自船位置測定の ローラン説明會

明十六日午後一時より県立水産試験場に於てローランの説明会が行われる。

講師は東京計器技術部長高木行大氏で、各漁船船主、無線士を対象に説明する。

ローランは航行中自船の位置の測定用具であり、従来の方向探知機と取扱い方法は同じであるが、それよりも正確に方位測定が出来る利点をもつている。

然し方向探知機のように任意のん波を受信して方位測定は不可能であるが、二方所のローラン局の発する時間差を、ローラン地図より計知するので、自船の位置が極めて正確であるので遠洋航行、若しくは万一濃霧時、自船位置の通報の正確さを要求される場合には役立つでん波器具で、現在大型漁船、商船には設備されている。

立花市長社 会事業に寄附

快氣祝として

磐城し立花し長は十一月二十六日三方月余の斗病生活を終り退院、十二月六日より平常執務についている。

立花し長は入院中、し民より、陰に陽に世わになつたし民の芳志に感謝して居り、今回快気祝として社会事業その他の団体に三万五千円を寄附することになつた。

寄附を受ける団体は次の通りである。

し職員組合 一〇、〇〇〇円
公使会 二、〇〇〇円
歳末助け合い運動に 一〇、〇〇〇円
公民館本館備品代（小名浜公民館） 一〇、〇〇〇円
社会福祉協議会 三、〇〇〇円

商工会議所 常議員會

磐城商工会議所の第八回定例常議員会が来る二十日午後一時より同会議所で行われる。

議案は、事務規程、服務規程、旅費規程、制定について承認を求める件である。

報告事項は、県下会頭会議及び全国商工会議所会員総会結果報告。

特定商工業者法定台帳作成状況並に負担金の認可申請についての報告、及び事業報告である。

急減したサンマ漁 貫當一三五円の高値

小名浜港のサンマ水揚は、本月に入り急速にその量が減少した。

当り六〇貫位の微量で総水揚量一、〇〇〇貫といつた魚市場に閑古鳥の鳴くような淋しさでサンマの終業を感じさせている。

その為にサンマ魚価はグンと高く貫当り一三五円の高値であつた。

昨十四日には、約三〇隻のサンマ漁船が那か港南東約一〇マイルから三〇マイル附近を主漁場に操業したが、その成網は非常に悪かつた。

本朝小名浜港に水揚したのは、千代丸、第十五恵丸等で僅か一隻

縣下観光バス 鶯鑾コンクール

福島県観光協会主催で来る十八日、観光バスの鶯鑾達のコンクールが行われることになつた。

参加事業会社は、福島でん鉄、県南交通、会津交通、常磐交通であり四会社より選抜された二十四名のお嬢さん達に依つて行われる。

尚、磐城市としては、県主催なので協賛する意味から成績優秀者には磐城市長賞、日東物産商会の安川賞等が贈られることになつている。

公務員の年末手当

今日支給

今日十五日公務員の年末手当支給日。

磐城し役所は年末手当一、二五カ月分を支給した。

し職員組合は国家公務員並に一、五カ月分を、し給与条例の改正を以つて〇、二五カ月分（約百万円）のプラスアルファーを要求して居り財政の困窮の折から、し給与条例の改正が注目される。

漁船保険事務講習

来る十七日午後一時より平水産事務所に於て漁船保険事務講習会が行われるので、磐城しの小名浜、中之作、江名区漁船関係者出席する。

近海漁業不振て 遠洋漁業 大型船に切替

全国屈指の漁獲高を示す磐城し中之作港の各漁業者は、近海漁業の不振の為、北洋漁業等の遠洋漁業を目ざして居り、続々と大型漁船に切替を初めている。

し内中之作吉田長兵衛氏は二〇〇トンの漁船第十五長栄丸を宮城県塩釜造船所に於て建造中であつたが、このほど竣工し、中之作港に回航され十四日進水式が行われ磐城し業界でも大型船として注目される。

天気予報

【今晩】南西後北西の風、晴れたり曇つたりですが、一時しぐれる事もありましよう。

【明日】北西の風、晴れたり曇つたりの天気です。

【明後日】北西の風、大体晴れの見込みです。

【海上】今晩は一時風波が高く、明日もやや高いでしよう。明後日は日中風波が出ましよう。

潮流

民主々義とは強く暴れた方が勝つことだと誰かが云つた。討議を尽して多数に従うと云う原則はいつの間にやら忘れて了つているようだ。

今問題になつている磐城市の市名改称についても特にこの感を深くする。磐城市がいゝか、小名浜市がいゝか？これは物の見方、その人の立場によつても相違はあるだろう。

然しその間に個人感情や、方部的の観念をさしはさむべきではなく広い市の大局から利害得失をよく検討し、大乗的の観点からその是非を決定すべきである。

その結論として磐城市がよいなら堂々と現状維持を主張すればいゝし、小名浜市がよいならこれまた正々堂々改称を主張するがいゝのだ。お互に是と信ずる道に向つて与論を喚起するのは大いに結構だが、最後の決定機関は市議会だ。

議会に於いて討議の上多数で決せられた時には破れたる少数派がこれに従う事が議会政治の常道であり、民主々義の原則である事は今更云う迄もあるまい。

「円満」と云う事は大いに結構な事ではあるが人々独自の主張を持つ以上、満場一致と云う事は実際問題としては容易でない。

少数意見を尊重するのはいゝが、最後は多数決だ。これ以外に議会政治はない。今市名変更で江名側が町民大会で反対決議をなし、議会がこれを強行すれば分市も辞さないとしている。反対は大いにいゝ、然し負けたら分市だとはこれは一種の脅迫だ。立憲国民として民主々義に対する大なる反逆である。

議員の中にはあんなに騒ぐのだから市名改称は棚上げする方がよかろうと云う者もある。平和を楽すのは市発展を阻害するからだと云う。

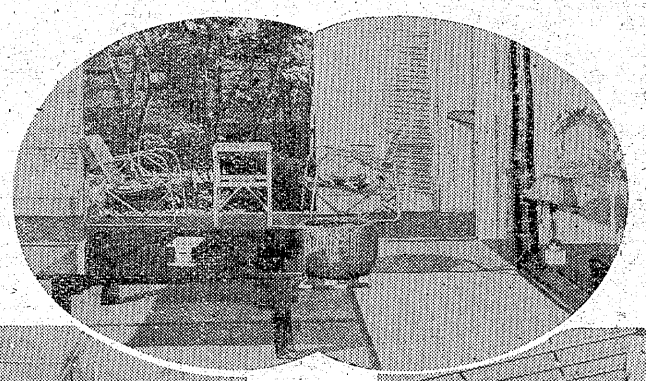
こういう安易な考いを抱く者があるからこそ真の市の発展が望まれないのだ。これだからこそ騒いだ方が勝つ、強く暴れ廻つた方が勝つなんて事になるのだ。

論議を尽して多数決に従うと云うルールを確立しない限り真の平和はあり得ない、到底市の真の発展は望まれないと云う事を、議員諸君は銘記すべきである。

夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市鎌田一五一
電話387番
編集兼発行人 医学博士 村 清

酒は清世界
上明神町一九
清水屋商店
小野義一
電話 一四五六番

新しい企画による
クリスマス
ダンスパーティ開催
日時決定次第お知らせします
ホール
忘年会
新年宴会に
是非御利用下さい
格安御相談に応じます
52疊の大廣間
ハトバ荘
磐城市電三一〇



開店お知らせ
和洋支那料理仕出し
宴會、婚禮等師範板前出張サービス致します
寿し……一〇〇円
折箱……一〇〇円より
お膳……二〇〇円より
丼類……七〇円
惣菜一品五円より
一品料理……五〇円より
刺身……五〇円
大學鮮魚部
電話425番
バス小名浜終点停留所横
磐城市古港

名瀬市（鹿児島）大火へ
尊い友情のお見舞
小名浜二小のよい子達

冷い師走の風に吹きまくられて、明日への生活に事欠く、生活の困窮者の救済の為に、歳末助け合い運動が全国的に展開されている。磐城市でも「赤い羽根」共同募金から引続き、全国的に行われている歳末助け合い運動の一環をなす運動を展開している。

ところが昨日磐城市小名浜第二小学校四年二組一同代表遠藤操さん等より鹿児島県名瀬市（あま美大島）の大火に焼け出された友達に同胞愛と友情のこもったお金と慰問品及慰問文が福祉事務所に届けられた。

磐城市福祉事務所では感激して早速発送の手続を行い今日温い贈物を名瀬市長宛に発送した。

これは小名浜第二小四年二組遠藤操さんが、去る九日、自宅で楽しく夕食をしていた処、ラジオであま美大島名瀬市の大火の状況と、焼け出された人々の座談会の放送を聞き、気の毒に思い、居たたまれずこの事を夢持の半谷卓先生に相談し、学級の児童会に計り名瀬市のお友達を慰問する事になつたものである。

四年二組の児童会では早速義えん金、慰問品を持ち寄り、お金五百三十三円、本八冊、衣類五〇点、ノート二五点、鉛筆三打、消しゴム一、サック一、筆入一、等が集つた。

これに次の様な慰問文が寄せられていた。

「私は十二月九日のラジオであま美大島の火事にあつた人達のおはなしを聞きました。

お家がやけてしまつて住む家もなく、着物や、学用品をなくしたり又お父さんや、お母さんにはぐれてしまつた人達も大ぜいいるということです。私はとてもかわいそうで、しかたがありませんでした。それで、何んとかして少しでも助けてあげる事が出来たらと思つて児童会の時に皆に相談しました。そうしたら皆よろこんで、さんせいしたので、私達でどんな事が出来るか相談しました。

それで皆で、学用品や、着物や、本を集めたり、お小遣いを出しあつたりしようといふ事に決まつたので集めました。

私達はまだ子供なので、お金も持つて居りませんし、新しい着物も送れませんので皆使つていた物ばかりですけれど、何かのお役にたてばうれしいと思います。

お金もほんの少しですがおくります、どうぞ名瀬市の皆さんにさしあげて下さい。

福島県磐城市小名浜第二小学校
四年二組　遠藤　操外一同
名瀬市長様」

このことについて、四年二組担当の半谷卓教諭は「遠藤君が家でラジオの放送を聞き、名瀬市の人々に何かしてやりたいと相談があつたので、君達で出来る事をやりなさいと言つておきましたが、生徒達が児童会に計り、力を合せて、この事をなしとげたので、私も感きと感激で一ぱいです」と語つていた。

教育委員会で
視聴覚教育の巡回映画会

磐城市教育委員会では、社会教育として能率のよい視聴覚による教育を行うことになつた。

上映予定のフイルムは、

明るい家庭生活
土と芸術
育児と営養
或村の歩み
エスキモー
公衆道徳
デスカションの手引

等であるが県側の都合で一部変更されるかもしれない。

磐城市教育委員会としては、視聴覚教育を一月に一回上映を計画しているが、各種の悪条件に左右されて実現されなかつたが、一九五五年の終幕として次の日程で巡回することになつている。

尚本日午前十一時より上映フイルムの試写会を小名浜公民館ホールで行つた。

十五日　江名分館
十六日　中之作〃
十七日　永崎〃
十八日　下神白〃
十九日　上神白〃
二十日　鹿島小学校
二十一日　下蔵持のお寺
二十二日　小名浜漁業協同組合
二十三日　小名浜高等学校
二十五日　小名浜公民館
二十六日　下川公民館
　　薄尻公民館
二十七日　本谷岡部氏宅
　　玉露公民館
二十八日　泉公民館
　　泉町斉藤氏宅
二十九日　上釜戸公民館
　　渡辺公民館

各会場共午後六時からである。

暮しの懇談会について

小名浜第一婦人会長　松田美枝

残り少ないカレンダーを眺めては、主婦の足元はぐらつくばかりでほんとに、これでよしとされています。何時になつたら時の流れと共に悔ない自分をつかみうるで御座いましようか。

今年こそはと念じたいろ〳〵の事共も、歳の瀬に来て一度におういかぶさつてきたように思われ、記帳生活の推進もその一つで、一年越し努力目標に掲げた会の計画もどうにもならず、年の瀬に追いつめられた胸の痛さを感じています。

農村ブーム、ボーナスブームを談げた「記帳生活」も、生活への反省と無駄をなくしての生活合理化、帳するいろ〳〵な下準備の話し合いへの一歩前進のためでも御座いましよう。

ついて第一回の打ち合せを本年二十六、七日頃に開いて、費目のきめ方や勘定の立て方、帳簿の形式など記帳するにどうしたら都合がよいかなど話し合う事になつて居ります。

御希望の方は私宅迄（でん話八三九番）御申出で下さい。時日決定の上御連絡申上ます。

申し合せ

一、本会の名称を「暮しの懇わ会」と名づけ、事務所を「松田宅」に置きましよう。

二、記帳生活を通してはなし合い無駄をなくして生活を合理化しましよう。

三、本会が一年継続努力目標として掲げた「記帳生活」第一回お話し会を開いた訳で御座います。

皆さん方は記帳生活をなされて居られますので、とても熱心にお話し合いをした次第で御座いますが単に収支の記帳をするのみではなく、更に一歩を進めて予算を立てしかも費目別に記入して獲算と実支出との対照表を作つて、生活を反省するに便利のように工夫をしましようと、来年一月一日から記帳するにあたり、お互いの生活に事欠く、生活の困窮者の救済の為に、歳末助け合い運動が全国的に展開されている。磐城市でも「赤い羽根」共同募金から引続き、全国的に行われている歳末助け合い運動の一環をなす運動を展開している。

ところが昨日磐城市小名浜第二小学校四年二組一同代表遠藤操さん等より鹿児島県名瀬市（あま美大島）の大火に焼け出された友達に同胞愛と友情のこもつたお金と慰問品及慰問文が福祉事務所に届けられた。

磐城市福祉事務所では感激して早速発送の手続を行い今日温い贈物を名瀬市長宛に発送した。

これは小名浜第二小四年二組遠藤操さんが、去る九日、自宅で楽しく夕食をしていた処、ラジオであま美大島名瀬市の大火の状況と、焼け出された人々の座談会の放送を聞き、気の毒に思い、居たたまれずこの事を夢持の半谷卓先生に相談し、学級の児童会に計り名瀬市のお友達を慰問する事になつたものである。

四年二組の児童会では早速義えん金、慰問品を持ち寄り、お金五百三十三円、本八冊、衣類五〇点、ノート二五点、鉛筆三打、消しゴム一、サック一、筆入一、等が集つた。

これに次の様な慰問文が寄せられていた。

「私は十二月九日のラジオであま美大島の火事にあつた人達のおはなしを聞きました。

お家がやけてしまつて住む家もなく、着物や、学用品をなくしたり又お父さんや、お母さんにはぐれてしまつた人達も大ぜいいるということです。私はとてもかわいそうで、しかたがありませんでした。それで、何んとかして少しでも助けてあげる事が出来たらと思つて児童会の時に皆に相談しました。そうしたら皆よろこんで、さんせいしたので、私達でどんな事が出来るか相談しました。

それで皆で、学用品や、着物や、本を集めたり、お小遣いを出しあつたりしようといふ事に決まつたので集めました。

私達はまだ子供なので、お金も持つて居りませんし、新しい着物も送れませんので皆使つていた物ばかりですけれど、何かのお役にたてばうれしいと思います。

お金もほんの少しですがおくります、どうぞ名瀬市の皆さんにさしあげて下さい。

福島県磐城市小名浜第二小学校
四年二組　遠藤　操外一同
名瀬市長様」

このことについて、四年二組担当の半谷卓教諭は「遠藤君が家でラジオの放送を聞き、名瀬市の人々に何かしてやりたいと相談があつたので、君達で出来る事をやりなさいと言つておきましたが、生徒達が児童会に計り、力を合せて、この事をなしとげたので、私も感きと感激で一ぱいです」と語つていた。

文藝
近詠「戀心」

定西　坂内溪雪

そのかみの政子にも似し君故に吾に恋心きざしは愛し
戯れの如くに君に打ち明けし吾が恋心あわれと思ふ
幾度か恋に泣きつつなお恋に生きんとするかあわれこの身は
僅かなる酒に酔ひよれ街角の置き去りの三輪車に暫しいこふ
君に逢ふ事は楽しもそのかみの政子想ひば恋しきものを
恋と云ふ字を忘れたるこの吾に又恋せよとささやくは誰ぞ
恋などと言ふべき年にあらねども独り居る身の寂し心や

魚菜市況

鮮魚　小名浜魚市場

さんま　二三五―二一〇いか　一七〇
とう人六〇小あかし　一二五たこ　一二〇なめた　一七〇
〇青果　小名浜中央青果市場
たまご　二三―二〇ねぎ　九〇―三〇
入じん八〇―四〇ごぼう　九〇―四
五大根四〇―一〇へらな　二〇―一
〇白菜四五―三〇千大根四〇―三
〇さつま四〇―二〇里いも九〇―一
七〇ほうれん草九一―油菜二五―
二〇馬鈴しよ五〇―三五大和いも
二三〇―九〇玉菜六〇―四〇もやし六〇―四五丸大根四〇―一〇〇

内科・小児科
高木醫院
磐城市西町　電四九九

1955年
さよなら謝恩大賣出し
期間 12月14日―31日まで
靴の店 スガワラ
小名浜　中島　でんわ七七八ばん

本年最大のサービス
★特に14日―18日迄メーカーの協力により
市價の半額奉仕
最新型高級紳士皮靴　1、300円
最新型高級婦人皮靴　950円
オートバイ用半長靴　1、900円
★七五三用御子様靴＝大量入荷

待望の
シンガーミシン姉妹品
¥33,000円
ミシンなら
石川ミシン商会
電四六六

毎度御引立有難う御座居ます
『忘年會』のシーズンになりました
御予算でいか様にも御相談に應じます
牛乳風呂は何時でも御用意して御座居ます
旅館　割烹
勿來市植田　電二九
志富川
御座敷女中さん四、五名（至急入用）

年賀狀!!　迅速（多少に拘らず）
丁寧（御用命下さい）
長瀬印刷株式會社
電二二九

忘年会・新年会・新年会には
格安御相談に応じます
御料理・折詰・仕出し
生すし　焼
金時
小名浜駅前　電一二八

忘年会・新年会には
大小に拘わらず御相談に応じます
是非御利用下さい
◇50疊敷の大廣間◇
小名浜公園内
旅館　割烹
萬里荘
電話二七五番

温泉旅館
湯の花山貴白投加
お湯は早朝より有ります

お正月の晴着と
御婚礼衣裳
★特製防寒コート陳列★
★七五三のお祝着特賣★
高級呉服と實用衣料
かみや
平本店　TEL二五六・二〇一四
小名浜支店　竹町　TEL九四